

発行 **大竹辰治事務所**
 日本共産党 区議会控室
 大田区蒲田5-13-14
 電話 5744-1477
 事務所 大田区西蒲田5-9-12
 電話 3735-2611
 自宅 大田区東矢口3-11-19
 電話 3736-4202
 E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
 http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート

ご意見・ご要望をお寄せください



今年も区民要求実現のため区民のみなさんとの共同を広げ全力で奮闘します

日本共産党大田区議団は11月19日、防災対策、子育て支援、高齢者・障害者福祉の向上、区内中小企業支援など222項目にわたる「2014年度の予算編成に関する要望書」を提出しました。松原区長、遠藤副区長、幸田副区長が対応しました。

同時に住宅リフォーム助成の拡



予算要望を提出する党区議団

区民の願いが実現しました

大田区議会第4回定例会（11月27日～12月7日）の補正予算で実現

○住宅リフォーム助成事業に

1000万円増額へ

今年度当初予算3000万円でしたが、希望者が多く予算額を超えてしまい、党区議団は希望者全員が利用できるよう、さらなる拡充を求めています。

○西馬込都職員（教員）住宅跡地に小規模特養建設へ

西馬込2丁目の都教員住宅跡地に特別養護老人ホーム（30床、ショートステイ5床）建設のため施設整備費補助が計上。萩中2丁目の東京税関官舎跡にも特養ホーム建設が計画されており、今年に入ってから2件目となります。

「新年度の予算要望」なので、検討するようさらに要望しました。また越年対策についても「年が越せない」と言っている区内業者を支援すること。年末年始に庁舎が休業している際に生活相談等の

緊急窓口を開設等を求めました。党区議団は実現のため今年も区民のみなさんとの共同を広げ全力で奮闘します。



法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
お気軽にご利用ください（毎月第2水曜日）

1月8日(水)

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所（西蒲田大城通り）

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

住民追い出しになる再開発事業は中止を

京急蒲田西口再開発は住み続けられないまちづくり

区長はじめ他の議員からも羽田空港跡地の開発や蒲田・大森駅周辺地区の開発、新空港線「蒲蒲線」鉄道事業について、東京でのオリンピック・パラリンピック開催が決まったこともあり、推進加速を求める発言が目立っています。

しかし、京急蒲田西口駅前再開発事業では、地区面積1畝に地下1階、地上20階に商業施設、住宅、駐輪場などの建築物を建設するものです。公共施設としては、都市計画道路や特別区道の拡幅整備と約1000㎡のペDESTリアンデッキ（歩行者回廊）を含む44

00㎡の交通

広場を新設します。総事業費は約236億円となります。

事業目的には、防災性の

権利変換対象者

	対象者数	転出
地権者	164	45
借家権者	125	111
その他の権利者	25	25
合計	314	181

は、防災性の向上、市街地に活性化、良好な都市住宅の提供などと掲げられています。昨年の2月に権利変換がすみ、再開発組合の資料（右図）では、これまで住んでいた人や商売をされていた人たち314人中181人が転出し住み続けられなくなつたという結果です。糞谷駅前地区再開発でもすでに転出人が出ていると聞いています。

蒲田周辺地区グラウンドデザインも同様に

また、区は蒲田駅周辺整備について、2009年度に「蒲田駅周辺地区グラウンドデザイン」を策定、その後も調査研究会や駅開発検討部会などを設置し、昨年度は「蒲田都市づくり推進会議」の設置

と「蒲田駅周辺再編プロジェクト（素案）」を作成しました。整備のすすめ方として、プロジェクト策定から5年以内をめどに着手する初期期、10〜20年以内を中期とし、駐輪場の整備や東西連絡通路の整備は区民の要望でもありますので、すすめていくことは必要です。一方、京急蒲田西口や糞谷駅前と同様に住民追い出しになるこ

福島原発事故の居住制限地域は

放置され、手つかずの状態

11月11日から12日にかけて福島県に借地借家人組合の秋の旅行で行ってきました。1日目は袋田の滝に行つて、それからスーパーリゾート・ハワイアンセンターに泊まり、夕食後ハワイアンショーを見て楽しみました。

2日目は、福島の居住制限地域の富岡町をはじめ被災地を回りました。居住制限地域は、日中しか入ることができず、夜になると地域から出ていかなければなりません。また、手つかずの状態が放置されている家屋や駅を見て、これからどうなっていくのか、他人事とも思えない状態になりました。この実態を知らせてくださいと案

とが危惧されます。地域の商店会の役員さんが、「町が消えてゆく」と話をしています。地域住民にとつていい街とは安心して住み続けることができる街ではないでしょうか。再開発事業には多額の税金が投入されます。自分が納めた税金を使って、自分が追い出されるまちづくりは間違っています。中止すべきです。



もうすぐ3年になる津波の被害そのままの富岡町駅

内をしてくれた「原発事故の完全賠償をさせる会」の佐藤三男さんに言われました。感謝するとともに、皆さんぜひ被災地へ行つてこの現実を見てきてください。



京急蒲田西口再開発

駅前をこんなまちにしませんか!

(アミタド)

香川

京急蒲田駅

京急蒲田西口（B-1地区）の再開発イメージ図